

効率的に印刷を行うために

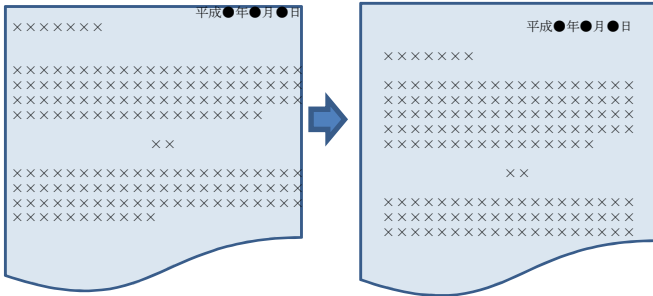
●印刷する原稿についての注意事項

原稿にはある程度の【余白】が必要です。

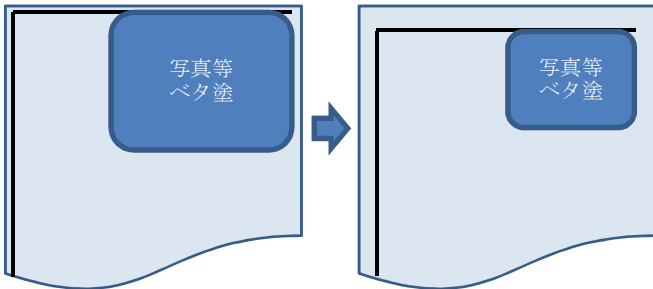
【余白】のない原稿を印刷すると、印刷物が頻繁に機械に巻きつくなどのトラブルとなります。

この場合は製版時に原稿の向きを変えたりすることで、ある程度解消することはできますが、製版するプロセスが増えるため、無駄が生じる可能性が高くなります

①適正な余白を



②野線や挿絵なども余裕をもって



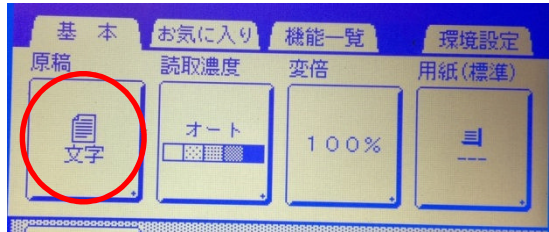
！原稿のベタ塗面積が大きいとドラムに巻きつきやすくなります
印刷機には写真やベタ塗を控えめにした原稿が望ましいです。

●鮮明に印刷されない原因は？

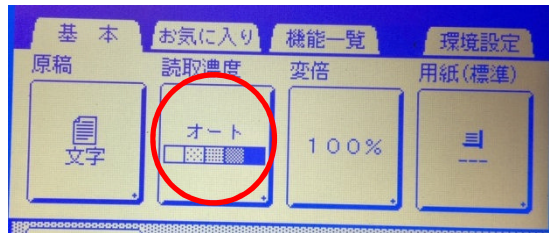
印刷機は基本的にコピー機よりも解像度が劣るため、原稿以上の解像度の再現はコピー機以上にできない点、あらかじめご注意ください。

好みの印刷でない場合、タッチパネルに表示されている基本機能エリアの原稿モードをタッチし、原稿に適した原稿モードを選択し、再度製版を行ってください(ただし課金されます)。

※モードは 文字、写真、文字・写真、えんぴつ の4種類、初期設定は文字



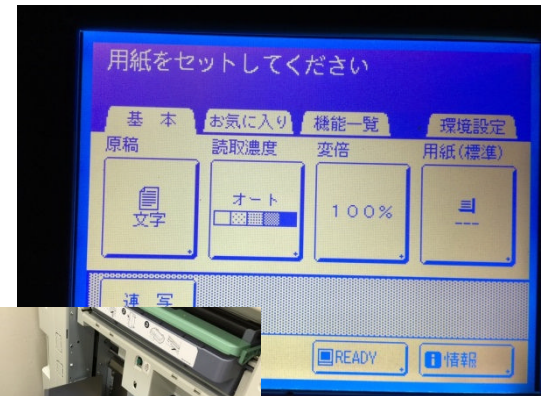
同じく「基本機能エリア」の読取濃度をタッチし、設定を変えて、再度製版を行ってください(ただし課金されます)。



インクの乗りが悪い場合は、好みの印影になるまで【試し刷り】ボタンを押してみてください(ただし課金されます)。

●原稿・給紙・排紙トレイの位置合わせについて

原稿の位置合わせ、印刷用紙のトレイや排紙トレイの幅調整は確実に行ってください。正確に印刷物のサイズにあっていると印刷機が自動的に「不定型サイズ」の印刷物として感知し、小サイズ(A4以下)の印刷物であっても、大サイズ(A4超)の単価で課金してしまう場合があります。印刷機の表示パネル等をしっかり確認いただきながら操作をしてください。



その他、不明な点がございましたらスタッフにご相談ください。